

# Daily Report (号外)

## ～5月の米雇用統計について～

### 結果概要

米国労働省が6月5日に発表した5月の雇用統計は、市場予想に反し、戦後最悪だった前月から一転して改善しました。

非農業部門雇用者数は、前月比+250.9万人と、市場予想(▲750万人)を大幅に上回る結果となりました。業種別では、新型コロナウイルスで一時的に休業を迫られていた娯楽・接客業が+123.9万人(4月:▲753.9万人)と大きく持ち直し、小売業も+36.8万人(4月:▲228.6万人)となりました。

米政権は中小企業の雇用維持を条件に、6,600億ドルという巨額の枠を設けて従業員の給与支払いを肩代わりする異例の資金供給策(給与保証プログラム(PPP))を続けています。再雇用でも企業は資金を受け取れるため、こうした大規模な資金供給策を背景に、特に娯楽・接客業や小売業などでの職場復帰が加速したとみられています。

また、失業率に関しても13.3%と市場予想(19.0%)に反して、4月の14.7%から低下しました。

平均時給は前年同月比+6.7%と4月の+8.0%から低下しましたが、4月の平均時給は低賃金労働者の大量失業を反映したことで大幅に増加していたため、低賃金労働者の職場復帰でその影響が若干薄れたとみられます。

### 市場の反応

5日の米国株式市場は上昇しました。5月の雇用統計が市場予想に反して大幅に改善したことを背景に経済活動の再開で米景気が早期回復に向かうとの楽観論が広がったことから、NYダウは一時1,000ドル超上昇し、終値は前日比+3.2%となりました。

その他の米国主要指数(S&P500:+2.6%、ナスダック総合指数:+2.1%)も軒並み上昇し、ナスダック総合指数は一時過去最高値を上回りました。

米国債券市場では投資家のリスク回避姿勢が後退したことから利回りは上昇し、10年国債利回りは前日比+0.07%の0.9%程度で引けました。

原油先物市場は続伸し、OPECプラス\*が協調減産を1か月延長する見通しとなったことに加え、雇用統計の予想外の堅調さから買いが膨らみ、WTI先物7月限は+5.7%となりました。

米ドル/円は、雇用統計が市場予想を上回ったことを背景としたリスク選好姿勢の高まりを受けて、円を売り米ドルを買う動きが優勢となり、約2か月ぶりの円安・ドル高水準で取引を終えました。

\* サウジアラビアなどのOPEC(石油輸出国機構)加盟国にロシアなどの非加盟国を加えた主要産油国



## 評価・今後の見通し

米労働省から発表される週次の失業保険給付に関する統計では、5月上旬をピークに失業保険の受給者数が減少に転じたことから、経済活動の順次再開と共に企業による再雇用が進んでいるとの見方がありましたが、今回の雇用統計は改めて再雇用の進展を確認できる内容でした。

もっとも、5月に雇用情勢は改善したといっても失業率は依然戦後最悪レベルの水準にあり、非農業部門の雇用者数も、3・4月の合計減少幅2,206万人の11%相当ほどを取り戻したに過ぎません。

新型コロナウイルスに対するワクチンや治療薬の開発に目処が立たない状況では経済が本格回復するのは困難と見られ、当面企業の雇用スタンスも慎重にならざるを得ず、労働市場の改善は緩やかなペースが続くものと見ています。

また大規模な金融・財政政策を背景に、先行きの景気回復を織り込むかたちで、金融市場はリスクオンの様相を強めています。米中貿易摩擦や米国内での人種差別に対する抗議デモ深刻化といった政治リスクに加え、今後公表される経済指標が思ったほど改善していないことに市場が失望するリスクには注意が必要と考えます。

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米労働省

	19/12	20/1	20/2	20/3	20/4	20/5
非農業部門	18.4	21.4	25.1	-137.3	-2,068.7	<b>250.9</b>
鉱工業部門	0.5	1.3	5.6	-11.9	-237.3	<b>66.9</b>
建設業	1.6	3.8	4.6	-6.5	-99.5	<b>46.4</b>
製造業	-0.2	-2.2	0.8	-4.6	-132.4	<b>22.5</b>
資源・鉱業	-0.9	-0.3	0.2	-0.8	-5.4	<b>-2.0</b>
サービス部門	15.9	16.6	16.4	-123.7	-1,735.1	<b>242.5</b>
卸売業	0.7	0.4	-0.3	-1.2	-38.3	<b>2.1</b>
小売業	4.1	-0.3	0.3	-8.5	-228.6	<b>36.8</b>
輸送・倉庫業	-0.2	2.3	0.0	-1.0	-55.3	<b>-1.9</b>
情報	0.9	1.1	0.0	-0.6	-27.2	<b>-3.8</b>
金融	1.0	0.9	2.2	-1.8	-26.4	<b>3.3</b>
専門・ビジネスサービス業	2.2	2.0	2.7	-9.4	-218.9	<b>12.7</b>
人材派遣業	0.5	-0.4	-0.6	-5.1	-84.1	<b>3.9</b>
教育・保険業	2.9	6.9	5.2	-17.8	-259.0	<b>42.4</b>
娯楽・接客業	4.0	2.4	5.9	-74.3	-753.9	<b>123.9</b>
その他	-0.2	1.3	1.1	-3.9	-43.5	<b>23.1</b>
政府部門	2.0	3.5	3.1	-1.7	-96.3	<b>-58.5</b>
失業率(%)	3.5	3.6	3.5	4.4	14.7	<b>13.3</b>
平均時給(前年比、%)	3	3.1	3	3.4	8	<b>6.7</b>

